

**第2期湯河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略プラン（案）
に係るパブリックコメント結果**

- 1 実施期間
令和2年1月31日（金）～2月29日（土）

- 2 周知方法
役場（地域政策課）、防災コミュニティセンター、町立図書館、
地域福祉センター2号館（子育て支援センターゆたぼん）、町ホームページ、
地方紙、メールマガジン

- 3 募集資格
本町に在住、在勤、在学の方
本町に事務所または事業所をお持ちの方

- 4 公表場所
役場（地域政策課）、防災コミュニティセンター、町立図書館、
地域福祉センター2号館（子育て支援センターゆたぼん）、町ホームページ

- 5 提出方法
パブリックコメント記入用紙または任意の用紙に、必要事項（住所、氏名、電話
番号、意見）を記入の上、役場地域政策課へ持参、郵送、ファックス、電子メール
のいずれかにより提出。

- 6 募集結果（9名から48件）
反映 4件、参考 44件

【全体について】

項番	ご意見	町の考え方／反映状況
1	<p>自然や個々の旅館やレストランは素晴らしいですが、街としての魅力や将来のビジョン何を目指しているのか？がなかなか見えてきません。</p> <p>熱海の復活（でも、熱海の猥雑感がどうもなじめず湯河原）や小田原の海の駅でのPR上手の惑わされることはないですが、逆にそこがPR的にもビジョン策定にもチャンスだとも思います。</p> <p>湯河原の魅力の将来価値の再設定を早急にすべきだと思います。</p> <p>お金をかけないで、街の魅力を発信できる方法はいっぱいあります。</p>	<p>【地域政策課】</p> <p>本町は温泉を主軸にした観光業が基幹産業であるため、観光業を活性化させることで人を呼び込み、地方創生へつなげてまいりたいと考えております。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【参考】</p>
2	<p>提言としては、ジャストアイデアでいろいろ言う事よりも私みたいに、セミリタイヤで湯河原に</p>	<p>【地域政策課】</p> <p>行政主体ではできないことに限</p>

	<p>移住してきた各方面のプロの知見を活かせる場を作っていただけないかと。街の人たちと、移住者の各方面のプロが話し合えるワークショップを定期的で開催していただければ。</p> <p>全体的に感じたことは、街を良くしようと思っている方々や法人はたくさんあるはずですので、その方たちより企画（案）を募集してみてもいいかでしょうか？その企画を町の各課の方々が評価し、良い企画は発案の方/法人と一緒に取り組み、その企画から生まれた収益は発案者/法人と各課が分け合う方式をとれば、よい企画が集まりやすく（各課の職員の方が考えもしなかったような）、発案者/法人も非常に盛り上がり、他の地域のモデルになると思いますので、是非検討していただけますよう、お願いいたします。また、私のような民間の方々を企画立案のメンバーに加えていただけても、現状以上に面白いものができあがるのではないかと思います。</p> <p>※官民一体の企画</p>	<p>界があり、また、まちづくりは町民の方々と共に行っていくものであると考えておりますので、町民の方々と役割を分担しながら協働で進めてまいりたいと考えております。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
3	<p>先ず、全体を見て網羅的で重点ポイントがないと感じました。町政としてはあらゆる所への目配りが必要とされますが、何か変革をしようとしたら重点は必要です。</p> <p>町民がプランの段階から関心を持ち、希望を出し合っていくことこそ「誰もが活躍できる町づくり」だと思います。</p>	<p>【地域政策課】</p> <p>本プランは、人口減少の抑制と地域の活性化を目標としており、そのために必要な施策や事業を掲載しております。一方で、本町の基幹産業である観光業を活性化させることが重要な要素の1つであると捉え、取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>また、本プランの策定に当たっては町民からの公募によるワーキンググループを設置し、意見を伺っております。今後も、湯河原町自治基本条例に基づき、様々な機会を捉えて町民の皆さまの参画を促進・実施してまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
4	<p>駅の改築、万葉公園の整備、町民は何も知らされませんでした。あれこれ雑多な意見が出て成立</p>	<p>【地域政策課】</p> <p>議会所管の常任委員会等にお</p>

	<p>までがめんどうだとは思いますが、めんどうなのが民主主義だと思います。町議会がしっかり機能し、議会運営が町民に知らされ、意見が反映されるようにしてください。</p>	<p>いて報告等をしておりますが、行政として町民の皆さまへしっかりと周知できるよう、情報発信力の強化に努めます。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
5	<p>町職員がそれぞれの部署で本当の仕事を理解し（全体の打合せ、新人教育等）自信を持って仕事ができるようにしてあげて下さい。常に上の人にお伺いをたてているように感じます。</p>	<p>【庶務課】</p> <p>部下が職務を遂行していく上で必要なスキルを上司や先輩職員が随時与えていく人材育成方法であるOJTを活発に行うとともに、専門的知識の習得には従来どおり、市町村研修センターなどの研修へ積極的に派遣することで、職員の能力向上を図ってまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
6	<p>町役場内で、情報共有が弱冠希薄だと感じます。人材など共有出来る情報は共有し、非常勤に至るまで、横の連携が必要と感じます。</p> <p>また、今後の優秀な人材流出を防ぐ為に、外部コンサルタントに退職者へのヒアリング含めて、組織としての改善点を指摘して頂くなど、外部からの目が必要と感じます。</p>	<p>【庶務課】</p> <p>庁内における情報共有及び連絡体制を円滑に進めるため、複数課を統括する参事の職を新たに設置しましたので、人材の情報共有も含め、今後更なる連携が図れるよう努めてまいります。</p> <p>非常勤職員については、会計年度任用職員制度への移行に伴い、人事評価制度を導入し、上司との面談を通してコミュニケーションを円滑に図ってまいります。</p> <p>また、令和2年度より職員の人事管理及び労務管理について、社会保険労務士と顧問契約を結ぶことで、職員の働きやすい職場環境をつくり、組織の改善を図ってまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>

【基本目標 1 について】

<p>7</p>	<p>1-1(1)サテライトオフィス等の誘致</p> <p>基本目標 1 の実効策としては、最も有効と思われるので、具体的方策を実行する必要があると思う。</p>	<p>【地域政策課】</p> <p>第 1 期プランからの継続事業として、本町の地域特性や成功事例を研究するとともに、空き家・空き店舗の利活用施策として、積極的に推進してまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
<p>8</p>	<p>1-1 起業支援・企業誘致の推進</p> <p>1-2 地域産業の活性化</p> <p>一般企業誘致については非常に厳しいかと思えますし（交通の便等）、サテライトオフィスについても一般企業の誘致同様に厳しく、しかも誘致できたとしても町の税収が増えるとはあまり思えませんので、観光客を対象とした飲食店/商店に絞って意見させていただきます。</p> <p>義理の父親の飲食店を OPEN させるまでの経験で言いますと、湯河原町の良い点（東京との比較）は、①物件が安い/契約条件も優しい、②店舗+住居の物件が多いという点が挙げられますので、出店に関しての初期費用/ランニングコストが安いというメリットがあります。悪い点は①絶対客数が少ない、②店舗+住居物件の厨房設備が古く費用がかかる点（ほぼ入替の必要がある）です。上記の良い点/悪い点を鑑みて、以下のフォローを行うことで、湯河原への出店を考えていただける方が増加すると考えます。</p> <p>1. 自身の店舗を持ちたいと考える方が数多くいらっしゃいますので、その情報のサイトへ募集を促す。</p> <p>※募集内容もフランス料理店出展者募集など業種を絞り募集をかけることが良いかと思えます。</p> <p>町の職員の方が考える街づくりにマッチした業種に絞ることで、街づくりが計画的に行われます。</p> <p>2. 絶対客数が少ない点については、湯河原駅の乗降客数が非常に多いと思われますので、そこで</p>	<p>【地域政策課】</p> <p>本町は、首都圏までは通勤圏内であると考えており、大企業の本社機能誘致は難しくとも、支社や中小企業の誘致は可能であると考えておりますので、頂いたご意見も参考にさせていただきながら、「起業支援・企業誘致」、「地域産業の活性化」の施策を進めてまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>

	<p>の告知/試食できる場所を確保し観光でいらっしゃるお客様に店舗の存在を知っていただく。</p> <p>※サイトでの告知については、閲覧数が非常に少ないと思われますので効果が薄いと思います。</p> <p>3. 厨房改装費用の補填</p> <p>4. 湯河原で生活するようになり、飲食店/商店のオーナーが高齢の方が多く、後継者問題もあるかと思しますので「後継経営者」といった切り口でも募集を行うことで、飲食店/商店の減少も抑えられますし、現飲食店/商店のオーナーと応募していただいた方のマッチングの企画も人気があると思いますし、マスコミにも取り上げていただける内容だと思いますので、広く世の中の方々に知っていただくキッカケに活用できると考えます。</p> <p>上記を推進することで、雇用も促進され、若い方も定住/転出減につながるはず（仕事があれば若い人は定住していただけます）し、結婚/出産も増加が見込めます。</p>	
9	<p>1-2(1) 駅周辺（商店街等）の活性化</p> <p>地域産業活性化。駅周辺の活性化。手湯ができましたが、ほとんど使われていません。足湯又は、駅側に公営のお風呂を。</p> <p>駅前の手湯を足湯にして欲しい。駅のリニューアルもお金をかけたわりに評判が良くないです。どうして足湯にしなかったのか？等の声を聞きます。</p>	<p>【観光課】</p> <p>温泉観光地にふさわしく「湯けむり」を発生させるものとして手湯を設置いたしました。タオル販売所などの付帯施設が不要なこと、また、全国的に事例が少なく、目新しいという点から候補となったものです。</p> <p>湯河原への玄関口の1つとして、引き続き活用方法について検討してまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
10	<p>1-2(1)(2)</p> <p>駅周辺にみかんジューススタンド設置。ゆがわら産みかんを品種ごとに絞ったジュースのカップ売り。蛇口で捨てるスタイルや壁にインスタ映えする可愛い絵で集客。あおぎりみかんジュース、湘南ゴールドなど湯河原でしか味わえないフレッシュなジュースは集客可能。</p>	<p>【観光課】</p> <p>湯河原町商工会と連携して「ぶらん市」や「みかんサミット」などを活用し商品化等を検討してまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p>

		【参考】
11	<p>1-2(3)</p> <p>援農ボランティアを町として募集。近年、都内などからボランティアで農業を手伝いたい人がSNSで急増しています。他市町村では既に軌道に乗っています。交通費も出費する必要はなく、当日収穫した農産物を少し手土産に渡すのみで1日ボランティアをしてくれるシステムは利用すべきだと思います。</p>	<p>【農林水産課】</p> <p>農家の後継者不足や担い手不足は大きな課題であることから、援農ボランティア等による農作業を気軽に体験できる環境を整えることにより、新規就農へのきっかけになることが期待されますが、援農ボランティアと農業者とのマッチング体制の構築について、研究が必要であると考えます。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【反映】</p> <p>基本目標1 1-2(3)</p> <p>《検討事項等》へ「・援農ボランティア制度を検討」を追加</p>
12	<p>1-3(2)</p> <p>インターンに限らず、学生の短期ボランティア(旅費、衣食住付き)で島への雇用に繋げている成功例あり。将来への投資として湯河原町を体験して貰うことが大切だと考えます。</p>	<p>【地域政策課】</p> <p>首都圏からも通勤圏内であることをPRし、広く受け入れを行い、多くの学生に活用していただくことのできる制度を検討してまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【参考】</p>
13	<p>1-3(3)</p> <p>グローバル人材はかなり豊富に町に在住しています。その掘り起こしが必要。</p> <p>町にも非常勤でタイ語や中国語、英語など外国語が堪能な者や海外経験豊富な者もいるが、横の情報が繋がっていない印象。職員や非常勤の特技などを共有して欲しい。</p> <p>AIが翻訳は可能な時代に、単にTOEICの点数や人数ではなく、いかにコミュニケーションし、人脈を構築しているかなどを記録、重視すべきと考えます。</p>	<p>【地域政策課】</p> <p>インバウンド対策、また今後増加する外国籍住民の支援対策としての人材育成が必要となることから、コミュニケーション力や人脈はとても必要なスキルであると考えます。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【反映】</p> <p>基本目標1 1-3(3)</p> <p>KPIを第1期プランと同様</p>

		の「外国語サポーター人数（累計）」とし、実績値「16人」、目標値「40人」と修正。
14	<p>1-3(4)</p> <p>郷土愛は体験によって記憶されると考えます。せっかくある自然を活用していないのがとても残念です。危険回避だけでなく海での遠泳や山での虫取り、川での釣りなど、地域の力を借りて、学校負担を減らして、体験させるべきだと考えます。</p> <p>お祭りは一番郷土愛を育てる絶好の機会です。しかし、子供会がなくなるなど体験する機会が減ろうとしています。地域で時間のある高齢者に見守りを頼み、保護者は送迎のみ等、地域全体でお祭りを体験させる柔軟な枠組みを構築する時だと考えます。</p>	<p>【学校教育課・社会教育課・こども支援課】</p> <p>幼稚園・保育園では芋ほり体験、小学校においては、南郷協同組合の協力を得て茶摘み体験や、湯河原温泉旅館協同組合青年部及び女将の会の協力により温泉入浴体験、湯河原観光漁業協同組合の協力による稚鮎の放流体験、後継者不足により耕作放棄地となった農地で菜の花やコスモスの栽培体験及び定置網漁見学のため漁船乗船体験を実施しています。これらの取組みを継続するとともに、多世代交流の推進を図るため、基本目標4に掲載された施策とも連携しながら実施してまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【反映】</p> <p>基本目標4 4-1(1)</p> <p>《検討事項等》へ「・地域資源を活用した多世代交流の推進」を追加</p>
15	<p>1-3(4)郷土愛を育む学習活動</p> <p>保育園、幼稚園の正職員の募集と、この時期に必要な図書費の充実と、湯河原ならではの温泉を使ったカリキュラム、体験活動を願います。</p>	<p>【学校教育課】</p> <p>幼稚園の職員については幼稚園設置基準に定められており、1学級あたり専任教諭1名となっています。福浦幼稚園でも、年長、年少のそれぞれのクラスにおいて正職員幼稚園教諭が1名ずつ配置されており、不足が生じた場合には、新たに正職員を配置したいと考えております。</p> <p>また、図書費の充実については、園児の興味を引くような絵本コーナーの飾りつけや絵本の展</p>

		<p>示を行ってまいります。</p> <p>温泉を使ったカリキュラムとしては、小学校において、湯河原温泉旅館協同組合青年部及び女将の会の協力を得て、ごごめの湯において温泉入浴体験を行っておりますので、幼児につきましては、検討してまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
16	<p>農林水産業の活性化は基本だと思う。湯河原高校を失ったのは残念。農業高校、水産高校への転身を考えてほしかった。中学校が最高学府の町となり、若者がいない。</p>	<p>【学校教育課】</p> <p>県立高等学校につきましては、県において将来の人口指針などにより、統合されたものと考えております。</p> <p>町立小学校において、郷土愛を高めるような学習活動を行ってまいりたいと考えております。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>

【基本目標 2 について】

17	<p>2-1(1)</p> <p>ロケツーリズムは熱海市にならい、24H 専属で受けられる人材が必要です。また、始める際は、マスコミに縁のある人材から売り込みが可能なので、町の人材情報を収集し、売り込み依頼する事でスムーズと考えます。私もマスコミにいたので、ロケは人脈だと感じる経験から。</p>	<p>【観光課】</p> <p>ロケツーリズムを単なるロケ地の誘致だけでなく、その版權の活用も視野に入れて進めるため、受付窓口を1本化する体制づくりを行うなど、メディアとの人脈を大切に進めてまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
18	<p>2-1(2)</p> <p>万葉公園は万葉集に縁のある草花があることを知る人が少ないので、観光客用に和歌を書いて掲示できるスペースまたは樹木の設置をすることで、体験を売却でき、SNS 拡散効果があると考えます。1枚 100円程度。</p>	<p>【観光課】</p> <p>万葉公園の整備につきましては、自然を残した中で基本コンセプトを温泉場の「屋外リビング&ガーデン」として面整備するものです。その運営は民間事業者が行</p>

	<p>また、万葉集に緑の樹木がわかる地図を入口で配布出来れば、子どもも宝探しの体験が出来ると思います。</p>	<p>ってまいります、ご提案頂いたアイデアも参考にさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
19	<p>万葉公園の今の良さを生かした再生を。観光会館を建てかえるのならコンサート、講演会などができる十分な質と広さを確保してほしい。</p> <p>2-1(2)万葉公園・周辺地区まちづくり</p> <p>新しい観光会館に文化ホールを附属させなかったのは非常に残念。(コンサートを定期的開催する等、美術館と共に文化の中心が創造できるホールが必要。)</p> <p>駅地区に文化ホール・図書館等の文化的中心地を創造することで、駅前と万葉公園周辺との有機的つながりがつくれるかもしれない。</p> <p>2-1(2)万葉公園・周辺地区まちづくり</p> <p>今迄、音楽活動や町の音楽祭等、観光会館(音響効果よくない)のホールを使用していましたが、昨年より、町の体育館となり驚いています。プロのアーティスト、アマチュアも含め、是非音楽ホールを設置していただきたいと強く望みます。</p>	<p>【観光課】</p> <p>現在の観光会館は、耐震性やバリアフリーに対応していないこと及び老朽化などの構造上の問題も多いことから、建て替えではなく、一部残した減築をいたします。その際には、現在の大ホールは無くなりますので、当面は町民体育館又は防災コミュニティセンターをホールとして活用してまいります。音響に課題があることはご指摘のとおりでございますが、観光会館に代わるホール等の設置は今後の検討課題とすることをご理解ください。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
20	<p>2-1(2)万葉公園・周辺地区まちづくり</p> <p>万葉公園周辺に大きな駐車場が確保できない現実にどう対処するのか。体育館駐車場を利用してどのような交通手段(駐車場→公園)を町として用意するのか。それによって万葉公園・周辺まちづくりの成功の成否が決定されると思う。</p>	<p>【観光課】</p> <p>現在、近隣に大きな駐車場が確保できるように調整しているところでございます。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
21	<p>2-1(3)</p> <p>インバウンドはまずHPやSNS発信が重要なので、町には専属でSNS専門の者を台湾のように雇うべきかと思えます。都内から90分で海(波乗り、シュノーケリング、海水浴、釣りなど)、山(虫取り、農業、野草)、川(釣り、野鳥観察)、陶芸や芸伎遊び等、温泉以外の体験が出来る場所は他にないのに、勿体ないと常々思っています。</p> <p>主要な観光地には行き尽くした外国人観光客に売れるものは〈体験〉です。</p>	<p>【観光課】</p> <p>海外へのSNS発信につきましては、台湾のブロガーをお招きし、湯河原の魅力を発信していただきました。今後も、体験型のコンテンツを含めSNS発信に努めてまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>

	<p>海外リゾート地のように、単発の体験をネット購入できる〈VERTRA〉のようなシステムに参入するか構築を。そして、人材情報を共有し、体験を教授できる人材の探索を。</p>	
22	<p>2-1(6)文化と観光による地域再生</p> <p>あの素晴らしい美術館にピアノを設置し、演奏、合唱、お話し会等できるとよい。文化・芸術を大切にし、人が訪れる町になるとよいなと思います。</p>	<p>【美術館】</p> <p>館内にピアノを常時設置することは、スペースや展示環境との関係があり難しいと考えます。</p> <p>美術館では、これまで1階フロアのスペースを活用し、小中学生や町内文化団体の作品展示、ワークショップや講演会などを開催してきました。今後も文化・芸術の振興のため、演奏会なども含めた様々な事業を企画し、町民や観光客が気軽に訪れることのできる美術館を目指して参ります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
23	<p>2-1(6)</p> <p>海沿いの防波堤沿いの大きな壁の活用を。</p> <p>名画の中に入れるインスタ映えの絵など描いてあるものでも集客可能ですが、自分で描けるスペースもあれば、他にないサービスに観光客は楽しめると考えます。</p> <p>ペンキやエプロンは貸出し。スペースによって価格を変え、グループでの作業も可とし、自分で描くインスタ映え絵画はSNS発信材料としてバズる可能性が高いと考えます。</p> <p>描いた絵を一色で塗り直すスタッフが必要ですが、受付はドッグランスタッフで兼ね、絵画専門スタッフは雇用が必要です。</p>	<p>【公園課】</p> <p>海沿いの防波堤沿いの大きな壁及び、前面の通路につきましては、神奈川県が高潮・台風による高波から町内外の利用者の安全のために設置及び管理しているものである為、安全性の観点からも難しいと考えております。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
24	<p>2-1(7)</p> <p>大会ではなく、常時、子どもが体験できる先生を波乗りやテニス、野球、ニュースポーツなどで確保し、インバウンドと同じように、ネットでリクエストに応じ、体験できるシステム構築を。保護者はスポーツを気軽に体験出来れば、お金を払います。教育の為であれば、足を運びます。子どもに新しい体験を気軽にさせられる温泉地とし</p>	<p>【社会教育課】</p> <p>“湯河原町への新しい人の流れをつくる”観点から提案させていただきましたが、住民の方には、児童に対しては、サッカーや野球などのスポーツ少年団の支援やニュースポーツではスポーツ推進委員によるファミリーバドミ</p>

	てアピール可。	<p>ントン教室を行っています。</p> <p>ご提案をいただきましたことにつきましては、町体育協会やスポーツ推進委員と協議し、検討して参ります</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
25	<p>2-2(1)</p> <p>町外から移住してきた人は、外からの視線で湯河原の魅力を発信出来る人材です。SNS でブログ発信を。SNS が個人で出来ない人にはインタビューし、担当が記事を掲載する事で、様々な世代の記事掲載することで、移住への魅力や不安感を払拭できると考えます。特に町内向けの講演や祭りなど無料イベントは都内では考えられないほど充実しており、住まないとわからない利点をアピールする機会になると考えます。</p>	<p>【地域政策課】</p> <p>移住者の実体験は、有効なPR手段であると考えておりますので、移住施策を推進する中で「移住者の声」を、ホームページなどを活用しながら発信してまいりたいと考えております。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
26	<p>2-2(1)湯河原への移住PR</p> <p>移住セミナーを開催するより、別荘（マンションを含む）として湯河原にいる人が定住しないのは何故か。そのひとつは文化的魅力がない点にある。（アート散歩に訪れた人たちが「こういう文化的な企画があるなら定住したかった」と述べている）等、その原因をつきとめ対処する必要があると思う。有効なのはセミナーより口コミ。</p>	<p>【地域政策課】</p> <p>本町には、文化的魅力のある資源が多く存在していると考えております。それらを、令和元年7月に町、観光協会、旅館組合、商工会が共同で観光情報を集約したポータルサイトを通じて、広く周知し、関係人口や移住者の増加に努めてまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
27	<p>2-2(3)</p> <p>お試し移住にアニメや漫画家志望者が集まる専門学校などにアクセスを。</p> <p>近年、聖地巡礼での観光客増強の原資は、メディア、特にアニメ、漫画の原作が多い。デビューした暁には、湯河原を舞台に描いて貰うことを条件に格安での貸出しを。</p>	<p>【地域政策課】</p> <p>お試し移住のターゲットとして、ご提案いただいたアイデアも参考にさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
28	<p>2-3(1)</p> <p>圧倒的に不足していると感じる。カレンダーに観光客向けイベントの掲載は観光客が計画を立てる上で重要。加えて、町内向けイベントも掲載</p>	<p>【観光課】</p> <p>令和元年7月に町、観光協会、旅館組合、商工会が共同で観光情報を集約したポータルサイトを</p>

	<p>する事で、外からの観光客も移住後を想像できると考えます。</p>	<p>立ち上げました。その新たなホームページへは、各団体が保有している観光情報を順次移行しておりますので、不足に感じる観光情報は徐々に充実させているところです。</p> <p>また、町民向けのイベントは、町のホームページで一括管理できるよう検討してまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
29	<p>2-3(2)</p> <p>合宿できる宿として特集ページが旅行検索サイトにリンクされれば、学生団体の利用率が格段に向上すると考えます。</p>	<p>【地域政策課】</p> <p>令和元年7月に町、観光協会、旅館組合、商工会が共同で観光情報を集約したポータルサイトを活用し、旅館組合等と連携しながら検討してまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
30	<p>2-3(3)</p> <p>町で行われるイベントのチケットブースが駅や商店街にないので、設置希望。海外の観光地では、ネット購入以外に、駅やショッピングモール内に必ずチケットブースがあります。</p>	<p>【地域政策課】</p> <p>駅前観光案内所や新たな観光会館だけでなく、商工会を通じてイベントに関連する店舗などに協力を仰ぎ、イベント周知も兼ねた販売方法を検討してまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
31	<p>ひとの流れ、高校が設置されていた時は、若者が溢れ、活気がありました。中学の山側への移転と、もう一度高校、専門学校の設置を希望。</p>	<p>【学校教育課】</p> <p>中学校の配置につきましては、移転の経緯などをご理解うえ、ご協力をお願いいたします。</p> <p>高等学校や専門学校の誘致などは人口指針などから難しいものと考えております。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>

【基本目標3について】

<p>32</p>	<p>3-2(1)</p> <p>産婦人科が皆無。町で予算を取り、産婦人科医を厚生病院などと連携し、確保して欲しい。</p> <p>少子化には色々な原因があるが、先ず産婦人科のある病院を誘致するべきだ。</p>	<p>【保健センター】</p> <p>産科、小児科など特定の診療科の医師を中心に医師の数が減少している状況であるため、国及び県に対して医師の就業環境改善の措置を図るなど、抜本的な医師確保対策を講ずるよう、引き続き要望してまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
<p>33</p>	<p>3-2(1)(2)</p> <p>3-3(1)～(4)</p> <p>これは絶対に必要。若い世代が移住したい町に！</p>	<p>【こども支援課・学校教育課・社会教育課・保健センター】</p> <p>出産環境の充実では、婦人科がない本町において、第1期プランに掲載された「マタニティ・サポート119事業」を実現化し、安心して出産できる体制を整備いたしました。</p> <p>また、ゆがわらっこ育ての支援においては、保護者が仕事をしながら子育てができるよう、ファミリーサポートセンターの利用促進や放課後子ども教室の設置などを実施しており、今後も保護者のニーズを伺いながら取組みを進めてまいります。</p> <p>小中学校におきましては、外国語活動を充実させるため、外国語指導助手を配置し推進しております。</p> <p>また、幼稚園・保育園においても早くから外国語に慣れ親しむよう外国語指導助手による外国語活動を実施しております。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>

34	<p>中高一貫校や会話学校（外国人労働者、家族の増加に伴う日本語学校等）の誘致。（運動公園方面に湯河原駅よりスクールバス）</p>	<p>【学校教育課】</p> <p>中高一貫校や会話学校の誘致は、将来人口や地域性などから難しいものと考えております。</p> <p>しかしながら、外国につながりのある児童・生徒は今後増加する可能性があると思われるため、関係団体や国、県の協力を得ながら当該児童・生徒や家族の支援などを検討していきたいと考えております。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【反映】</p> <p>基本目標 3 3-3 (3)</p> <p>《検討事項等》へ「・外国につながりのある児童・生徒やその家族への支援」を追加</p>
35	<p>3-2 (2)</p> <p>育児放棄や出産後に生じる問題を減らす為に、母子手帳交付時に、父親クラスの開催や学校では、育児は楽しい事だけでなく、生活が一変する事、自分の時間が無くなる事など、リアルな教育を導入希望。</p> <p>困った時には、町の相談窓口やどういったサポートシステムがあるのかをビデオなどで知らせる事で知っておくことが必要と考えます。</p>	<p>【保健センター】</p> <p>妊娠期から子育て期にわたり、妊娠届出（母子健康手帳交付）時に得た情報を元に、必要な支援を切れ目なく行っています。</p> <p>産前の妊婦訪問等で顔の見える関係づくりを目指し、産後は赤ちゃん訪問や各種乳幼児健診、相談・教室等、町の保健師等専門職が継続してサポートしています。</p> <p>今後も子が親の愛情を実感し、安定的な発達を享受できる体制を構築し、事業の充実を図ってまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【参考】</p>
36	<p>3-3 (1)</p> <p>移住者は知らないシステム。学校のPTAに周知したり、年1回でも保護者向けに配布して周知して欲しい。また、人材も同時に募集している旨の明記と、自治会などでも人材募集することで時間のある高齢者の採用が可能と考えます。</p>	<p>【こども支援課】</p> <p>ファミリーサポートセンター事業は全国的な取組であり、地域において子どもの預かりの援助を受けたい人と援助を行いたい人との相互援助活動を目的とした会員組織です。今後も会員の増</p>

		<p>加につながるよう周知してまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
37	<p>3-3(4)</p> <p>学童が校内にあること、放課後子ども教室の内容など外部へのPR不足を感じます。</p> <p>保護者で移住を考える世代は、教育環境に敏感であり、学校以外での教育の充実は、外部には非常に大きなアピールポイントであるにも関わらず、学校HPでの掲載が容量の問題で不可能である等、町内で解決できる問題なので、改善して欲しいです。</p>	<p>【社会教育課】</p> <p>今後、ホームページ等を通じ、情報を発信して参ります。また、学童保育所や子ども教室の情報を学校と協議のうえ、発信してまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>

【基本目標4について】

38	<p>4-2 健康長寿社会の実現について</p> <p>健康長寿には元気な高齢の方、そんなに元気でない方でもできる仕事を創出してあげることが必要だと考えます。</p> <p>例えばですが、湯河原の山を見ると非常に竹林が多いので、その竹林のオーナー様と交渉し、春にはタケノコを元気な高齢の方に収穫いただき、そんなに元気でない高齢の方には箱詰めなどの軽作業を行っていただき、湯河原の例えば「じいちゃん、ばあちゃんタケノコ」などとブランド化し販売を行ってみてはどうでしょうか？竹細工の工芸品も作るのもよいでしょうし、山を利用し春は山菜、秋はキノコ、年間を通しては、もみじの葉などを高級料亭/湯河原のホテルなどに卸す（以前、同様のことを行っている地域をTVで見たことがあります）商売も可能ではないでしょうか？また、海産物でも同様のことが可能ではないでしょうか？</p> <p>高齢者が元気になっていただければ、保険費も下がりますし、町税もアップし、現在以上に豊かな湯河原町になると思います。</p>	<p>【介護課】</p> <p>健康長寿社会を実現するには、行政主体の事業を実施するだけではかなわず、高齢者が自ら考え、動くことがとても大切です。</p> <p>ご提案いただいた内容を含め、先進的な取組み事例を調査・研究し、老人クラブや各種団体等を通じて町民の皆様へ情報を発信してまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
39	<p>4-1(1)</p> <p>コロナウィルスで休校するような時こそ、活用したいが、いつオープンしているか、わかりにく</p>	<p>【こども支援課】</p> <p>一般社団法人ユガラボが地域のボランティアや大学生を中心に</p>

	<p>いのを改善して欲しい。Facebook を子どもが見られる状況ではないので、決まった曜日、時間であれば活用しやすいのではと考えます。</p>	<p>に学習支援や様々な世代が安心して集える場所づくりを実施しています。ご意見を参考に今後も多世代交流活動を支援してまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
40	<p>4-1(2)</p> <p>子どもフォーラムに毎日のように子どもを見守っている学童の職員や放課後子ども教室のスタッフなどにも声がけし、連携しても良いと思う。</p>	<p>【学校教育課】</p> <p>ご意見を参考にしながら今後の子どもフォーラムの充実に努めてまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
41	<p>4-2(1)</p> <p>健康に必要なメンタルの部分で高齢者の居場所づくりが必要と感じます。</p> <p>物理的なものでなく、社会から必要とされている感として、子どもの太鼓ややっさ踊り練習の見守り、子ども会で保護者が負担が大きいと感じる部分を手助けしてもらえたら、相互に利益享受できると感じます。</p> <p>また、老害と呼ばれる行為を知らずにしていないかのチェックシートを町広報や自治会の便りなどで周知したり、講演会を開催したりして欲しい。</p>	<p>【介護課】</p> <p>未病改善や生きがいつくりの観点からも区会や子ども会等の団体からのニーズを把握し、高齢者の社会参加へつなげてまいります。</p> <p>また、老害に関するチェックシートや講演会の開催は、先進事例を調査・研究し、検討してまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
42	<p>4-2(3)</p> <p>小規模音楽ホール(200~300人)の設置。</p> <p>湯河原町音楽会は今年で第56回を迎えるが、体育館で行うと靴の履き替え・床のシート張り・音響等、無理がある。第54回までは観光会館で開催していたが、エレベーターがない・音響が悪い等の問題があった。音楽を通しての仲間づくりは高齢者のみならず、若者・子供・外国人等、世代・国籍を超えた交流を実現し、生きがいのある町づくりに貢献すると思います。</p>	<p>【介護課】</p> <p>新たな施設の建設は、建設費やその後の維持管理費等莫大な費用がかかるため、慎重に計画しなければなりません。</p> <p>いまある施設の利活用を推進し、各種サークル活動等を支援しながら町民の皆様の多種多様な交流を促し、生きがいの創出へつなげてまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>

43	<p>4-2(5)交通不便地域の解消</p> <p>路線バスをこれ以上減らさないで欲しい。昨年からのバスの本数の削減で不便を感じている。吉浜地区も坂がきついところなので、ゆたぼん号があると助かります。</p>	<p>【地域政策課】</p> <p>路線バスについては、民間事業者によるものですが、深刻な運転手不足により路線削減をせざるを得ない状況であると伺っております。</p> <p>本町では、湯河原町公共交通会議において、交通不便地域をはじめとする町内の公共交通のあり方について検討しておりますので、ゆたぼん号の吉浜地区の運行も含め、引き続き検討してまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
44	<p>4-3(2)地域防災力の強化</p> <p>災害時に屋根のある避難場所。町民全員を受け入れる事ができるようお願いします。</p>	<p>【地域政策課】</p> <p>町では、災害時に避難できる屋内の避難所として、各区の地域会館、各小学校体育館、保育園、防災コミュニティセンターなど20箇所を指定しており、約5,200の方が避難することができます。</p> <p>これは、本町で想定される各種災害の中で、避難者数が最も多く見積もられている相模トラフ沿いの最大クラスの地震が発生した場合の避難者数以上を確保しておりますが、日頃からの備えにより災害被害は減らすことができますので、引き続き町民の方の防災意識の向上に努めてまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
45	<p>図書館の建てかえ（雨もりがひどい）充実を。駐車場も備えて。</p>	<p>【図書館】</p> <p>建て替えにつきましては公の施設等整備調査特別委員会において耐震化なども含め、今後の検</p>

		<p>討であると考えております。また、雨漏りは修繕により対応してまいります。</p> <p>駐車場については、障がい者用を含め6台分が敷地内にあり、町営湯河原駅臨時第1又は第3駐車場及び商工会館横民営駐車場をご利用の方で、本等を借りた方に限り、町営は1時間分、民営は40分の無料券を交付しております。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
46	町内掲示板の修理をし、町民同士の交流を促す努力をしてほしい。数も少ないし、使用許可の手続きも簡素化を。	<p>【地域政策課】</p> <p>町内にある掲示板は、湯河原町青少年指導委員会や各区会等が所有する掲示板で、町が掲示物の受付をしておりますが、掲示板の設置目的や公共性を保ちながら検討してまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
47	町立図書館。駅のそばにあり、とても良いのですが、子ども読書推進活動を基本の基に戻すことと、正職員を増員し、本を通しての心育ちを更に豊かなものに。	<p>【図書館】</p> <p>第三次湯河原町子ども読書活動推進計画が平成29年3月に制定され、これを基本に読書の普及活動を推進しており、読書により子どもたちの豊かな心が育むよう活動しておりますので、ご意見を参考にさせていただきます。</p> <p>また、職員数の管理は役場全体で行っており、町職員により一層読書による豊かな心の育成を進めてまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
48	イベントで（農林水産まつり）海辺公園を使用しますが、グラウンドのトイレやプールのトイレがあまりにも汚いと感じます。プールもかなり古	<p>【公園課】</p> <p>海浜公園の公衆便所の衛生面について、週1回の清掃を行い、</p>

	<p>いと思います。来客が来た時に子どもを連れて行くには、衛生的にも考えてしまうのですが、更衣室くらいはきれいにならないでしょうか。湯河原にも温泉プールができると、とても嬉しいです。</p>	<p>衛生管理をしております。又、イベント時は定時的に清掃を行っております。</p> <p>また、令和元年度に大便器用を和式から洋式に取り換え、個室内の壁を塗装しました。</p> <p>更衣室についても、週1回の清掃を行い、衛生管理を行っておりますが、30年経過する施設であることから、改修等を検討しながら、衛生管理に努めてまいります。</p> <p>温泉プールにつきましては、屋内施設となることから現時点では設置は困難と考えております。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
--	---	---